

2023年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

2023年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

1. 公益目的事業

1-1. 土地や文化財の取得事業

ナショナル・トラスト活動を推進するために、寄付の呼びかけを積極的に行うとともに、狭山丘陵の土地等を取得する活動を行った。

(1) トトロのふるさと基金への寄付

2023年度のとトロのふるさと基金への寄付は、608件、117,637,118円が寄せられ、基金の累計は総額1,146,127,850円に達した。

(2) トラスト地の取得

新たに次の3か所のトラスト地を取得した。

- ・とトロの森61号地 5252.98㎡ 4,057,700円 2023年5月22日取得
- ・とトロの森62号地 2126.49㎡ 無償寄附(評価額10,045,395円)、諸経費563,400円
2023年6月15日取得
- ・とトロの森63号地 618㎡ 1,988,100円 2023年11月22日取得

(3) 新たなトラスト地の取得を目指した活動

地権者等への訪問及び連絡等を行った。以下、例示。

- ・所沢市三ヶ島二丁目532の地権者と打合せ(10月18日ほか)
- ・武蔵村山市中藤五丁目67-22ほかの地権者と打合せ(2月19日ほか)
- ・所沢市農業委員会事務局との打ち合わせ(1月12日ほか)

(4) 土地等取得検討委員会の開催

土地等取得検討委員会を1回開催した。

- ・書面開催 2024年2月6日 所沢市三ヶ島二丁目の山林他 計2件の案件を検討

1-2. 里山管理事業

1) 里山の管理の実践(里山部会事業)

トラスト地の適正な管理を実践するとともに、狭山丘陵の里山の管理に関して関係団体や行政との協働を進め、地元の農業者との連携を図りながら、地域住民や都市住民を主体とした里山の保全管理活動を行った。

(1) トラスト地等を活用して行う里山管理の実践

4号地、北中の森(12・52号地)、葛籠入の森(20・21・34号地)、猪入の森(6・23・35・36号地)、狭山湖北の森(29・38・50号地)、芋窪の森(40・47号地)、56号地、58・60号地において、毎月第一日曜日と第三木曜日の定例活動日および臨時活動日に「とトロの森で何かし隊」(2024年3月末時点192名)のメンバーによる定期的な管理作業を行った。うち、芋窪の森(40・47号地)は協力団体と合同で管理作業を行った。

2号地、チカタの森(3・15・48号地)、5号地、北野の谷戸(7・11・16号地)、12号地、17号地、葛籠入の森(20・21・26・34・51号地)、24号地、30号地、37号地、46号地、芋窪の森(47号地)、49号地、53号地は協力団体(2024年3月末時点17団体)による管理作業が行われた。

活動回数は合計 145 回、参加延べ人数は 1459 人となった。

その他、必要に応じて、チェーンソー等の動力機械を使用するトラスト地管理作業チームによる作業、業務委託による危険木・越境木の除去等を行った。

① 「トトロの森で何かし隊」の活動

- a. コロナ対策として人数制限を設けながら、トラスト地の管理作業を以下の日程で行い、活動回数 19 回、参加延べ人数 309 人、平均参加人数は、休日定例作業 20 人、平日定例作業 15 人となった。

日	場所	内容	人数	全数
4 月 9 日	22・29・38	外来種駆除、倒木の片付け	17	17
4 月 20 日	4	竹林整備	14	14
5 月 7 日	54	竹林整備 ※雨天中止	0	0
6 月 4 日	17	竹林整備・草刈り	20	22
6 月 15 日	47	笹刈り・ゴミ拾い・残渣置き場延伸	11	15
7 月 2 日	19	笹刈り・外来種駆除	20	21
7 月 20 日	4	竹林整備・草刈り	20	21
9 月 3 日	43・58	常緑樹伐採・下草刈り	28	30
9 月 21 日	29・38	下草刈り・外来種駆除	10	10
10 月 1 日	20	笹刈り	17	17
10 月 19 日	52	新トラスト地見学会・下草刈り・12 号地見学	15	15
11 月 5 日	56	新トラスト地見学会・下草刈り	22	22
11 月 16 日	47	笹刈り	16	21
12 月 10 日	58・60	新トラスト地見学会・ゴミ拾い	19	20
12 月 21 日	貉入	常緑樹伐採	17	17
1 月 18 日	34	常緑樹伐採	15	19
1 月 28 日	貉入	常緑樹伐採	15	15
2 月 4 日	57	トトロのふるさとゴミ拾い ※雪予報中止	0	0
2 月 11 日	21	萌芽更新地の管理	19	19
3 月 21 日	47	広葉樹間伐	16	20

※全数は合同作業時の協力団体等の参加人数を含めた人数

- b. 少人数での臨時作業を以下の日程で行った。

日	場所	内容	人数	全数
12 月 22 日	クロスケ	管理道具のメンテナンス	6	6

- c. ボランティア登録説明会を 4 月 23 日、10 月 22 日の計 2 回開催した。

(計 49 人参加、新規登録者 42 人)

- d. 見まわり隊によるトラスト地の見まわりを行った。

- e. 11 月 23 日 収穫祭を開催した。

- f. 3 月 3 日に交流会（意見交換会）を実施した。(21 人)

② 協力団体によるトラスト地の管理作業

トラスト地の管理作業を以下の通り行い、活動回数 119 回、参加延べ人数 782 人となった。

1. チカタ集いの会 (3 号地、15 号地、48 号地) 6 月 10 日ほか計 4 回
2. リコーボランティアグループ (5 号地) 4 月 22 日ほか計 6 回
3. 北野の谷戸の芽会 (7 号地、11 号地、16 号地) 詳細は 2-2 (1) 参照
4. ゆめとこファーム (24 号地) 4 月 9 日ほか計 4 回
5. 北中ネイチャークラブ (12 号地) 4 月 2 日ほか計 9 回
6. 26 緑の会 (12 号地) 4 月 25 日ほか計 7 回
7. ふらっと 12 (12 号地) 4 月 13 日ほか計 10 回
8. 17 号佐々木隊 (17 号地) 計 0 回
9. 耕し隊 (2 号地) 4 月 25 日ほか計 8 回
10. 30 号地人間隊 (30 号地、46 号地) 5 月 27 日ほか計 8 回
11. 37 号地ネコバス隊 (37 号地、45 号地) 4 月 10 日ほか計 7 回
12. 山田ファーム (20 号地、21 号地) 5 月 27 日ほか計 9 回
13. となりの緑地を守り隊 (47 号地) 4 月 2 日ほか計 8 回
14. 菩提樹田んぼの会 (19 号地) 計 0 回
15. 所沢高校インターアクトクラブ (20 号地) 計 0 回
16. スーパーバッグ株式会社 (49 号地) 4 月 8 日ほか計 6 回
17. NPO 子どもの木 (53 号地) 11 月 19 日ほか計 7 回

③ トラスト地管理作業チームによるトラスト地の管理作業

チェーンソー、刈払機等を使用した管理作業を以下の場所で、毎月 1~15 回、計 94 回おこなった。
チカタの森 (3・15・48 号地)、5 号地、猪入の森 (6・23・25・35・36 号地)、北野の谷戸 (7・11・16・32 号地)、8 号地、9 号地、10 号地、12 号地、13 号地、砂川の森 (14・27・42 号地・市有地)、17 号地、18 号地、葛籠入の森 (20・21・26・31・33・41 号地)、狭山湖北の森 (22・29・38・50・53 号地)、24 号地、30 号地、39 号地、芋窪の森 (40・47 号地)、43 号地、泉の森 (44・54・62 号地)、45 号地、50 号地、53 号地、58 号地、60 号地

トトロの森 4 号地で萌芽更新のための伐採作業をおこなった。

④ 案内板の設置等

- a. 以下の場所の案内板の作成および新設作業をおこなった。
56 号地、57 号地 ※作成は 2022 年度、設置は 2023 年度に実施
泉の森 (44・54・55・59・62 号地) ※設置は 62 号地に 2 枚 (案内板+地図)
- b. 以下の場所の案内板の修繕および再設置作業をおこなった。
20 号地、猪入、32 号地、45 号地

⑤ 企業及び地元ボランティア (協力団体以外) 等の協力を得て、トトロの森の管理作業を以下の日程で行い、活動回数は 5 回、参加延べ人数 78 人となった。

日	場所	内容	人数
4 月 23 日	7	コーセー総合労働組合 竹林整備	38
4 月 25 日	54	理研計器株式会社 竹林整備	7
6 月 30 日	54	がくどう舎 KIRACCO 竹林整備	11
11 月 25 日	20・31	株式会社日本設計 常緑樹伐採・下草刈り	13
1 月 13 日	13・砂川	GFN・ところざわ地域の自然グループ 落葉掃き	9

⑥ 業者委託によるトラスト地の管理作業

a. 危険木・越境木の除去等のため、業者に委託して以下の日程で行った。

日	場所	内容
10月10日～	24	住宅際ナラ枯れ被害木2本伐採
10月12日～	猪入	道路際ナラ枯れ被害木11本伐採
10月22日～	10	クレーム対応コナラ1本、住宅裏スギ1本伐採
11月4日～	37	車道寄りナラ枯れ被害木1本伐採
11月4日～	58	駐車場側ナラ枯れ被害木1本伐採
12月14日～	17	クレーム対応ケヤキ1本、クヌギ2本伐採
1月8日～	8	住宅際ナラ枯れ被害木5本伐採
1月9日～	38	道路際ナラ枯れ被害木7本伐採
1月13日～	32	道路際、ペット霊園脇ナラ枯れ被害木2本伐採
1月24日～	17	クレーム対応ケヤキ2本剪定

b. 案内板の新設作業等を行った。

※今年度は作業チームが全ての看板設置を行った

日	場所	内容
4月21日	56号地	新設
4月25日	57号地	新設
3月19、21日	62号地	新設

⑦ トラスト地管理作業チームによるトラスト地以外の里山管理活動

良好な里山景観の保全を目的に、トラスト地以外の山林や農地の管理作業を計5回行った。

日	場所	内容
4月25日	北野の谷戸田んぼ周辺	草刈り
6月16日	砂川不動橋市有地	草刈り
6月23日	入間市宮寺の農地	草刈り
10月13日	入間市宮寺の農地	草刈り
10月17日	入間市宮寺の農地	草刈り

(2) 講習会

① 石積み講習会

5月13、14日 伝統的な手作業の石積み工法について外部講師を招き学ぶ講習会を実施した。

② 応急手当講習会

7月9日 野外での怪我・事故に備えた、予防法、応急処置法を学ぶ講習会を実施した。

③ 里山管理技術講習会

5月20日、12月10日 管理作業の基礎となるノコギリ、剪定鋏、鎌などの使い方や木の伐倒方法などを外部講師から学ぶ講習会を実施した。

(3) 助成金の申請

所沢市みどりのパートナー活動支援事業補助金を申請

国土緑化推進機構「緑の募金公募事業」へ申請

地域環境保全活動応援事業（グラウンドワーク）へ申請

(4) 里山部会会議の開催

里山部会会議を 12 回開催した。

2) 北野の谷戸保全活動の推進（地域保全活動部会事業）

地域保全活動部会は、2010 年度から始めた北野の谷戸保全活動を継続して実施した。復田した田んぼでの稲作、トトロの森 7 号地、11 号地、16 号地の管理作業など、ボランティアグループ「北野の谷戸の芽会」のメンバーと地元の方々の協力を得て、北野の谷戸の里山環境保全作業に取り組んだ。

里山保全作業等の実施

4 月 9 日(日)①7 号地見回り、トラップ設置 ②田んぼ代掻き、畦塗り、田植え紐の設置

4 月 16 日(日)①7 号地、向かいの畑管理作業竹の間伐 ②田んぼ除草、泥ふみ、畦塗り

4 月 29 日(土)①水苗代作り、種まき ②お茶摘み

4 月 30 日(日)水苗代作り

5 月 28 日(日)①水田整備作業 ②外来種の駆除

6 月 4 日(日)①畦塗り ②トラスト地見回り

6 月 11 日(日)田植え

6 月 18 日(日)捕植

7 月 2 日(日)草刈り など

7 月 9 日(日)整備作業など

8 月 27 日(日)草刈り、ひまわりの採種、歩道くず掃き

9 月 10 日(日)草刈り

9 月 24 日(日)稲架かけ作り

10 月 8 日(日)稲刈り

11 月 3 日(金)脱穀

12 月 17 日(日)荒起こし

1 月 4 日(木)11 号地下見

1 月 14 日(日)整備作業

2 月 18 日(日)落ち葉掃き

3 月 10 日(日)お茶の剪定、堀さらい、橋の修理

(2) 関係機関との連携協議

- ・北野南里山保全地域のなら枯れの伐採やトラスト地の管理作業では、所沢市みどり自然課、基金の作業班、業者、地域住民の方と打合せを行った。
- ・函師小野路の谷戸田を視察した。当該地域の保全の歴史、そして具体的な管理手法を学んだ。
- ・北野南 12 区との交流 地区の夏祭りに参加した。
- ・東京農業大学学生による北野南里山保全地域内で昆虫相の調査研究が行われ、今年度に研究の成果がまとめられた。なお研究の成果を発表する機会として、いきものふれあいの里センターでの企画展(案)が提案され、その打合せを行った。開催等は未定。

(3) 部会会議の開催

地域保全活動部会を 6 回開催した。

(4) その他

活動の延べ参加人数は 217 名、米の収量は 49 キロだった。

3) クロスケの家の活用と管理

「クロスケの家マスタープラン」のスケジュールに基づき、各部会・委員会等によって事業が進められた。また、教育機関や地域の団体等の学習の場としても活用された。

(1) 一般公開

団体件数と見学者の月別内訳は下表の通りであった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	5	4	2	0	0	2	3	2	1	1	1	1	21
人数	390	369	267	361	311	356	474	430	150	190	221	250	3769

※件数は団体の申込数。見学者数には一般開館・特別開館・無料開放含む

※入館料収入合計 1,520,000 円 特別開館参加費合計 78,000 円

5月三ヶ島小学校学区探検・6月所沢若草保育園遠足・芸術総合高校写真部対応

9月川越なかよし保育園2回対応、11月東京学芸大、サレジオ小学校、1月南多摩中等教育学校
大学・学校・保育園等計8回利用

・母屋・蔵・茶工場を巡り基金の活動を知るきっかけとするための入館者向けクイズラリー実施。
リピーター向けクイズラリー上級編を用意した。

・有料ガイドプログラムの特別開館は11回開催延べ90名参加

・10月28日、会員・地域住民向け無料開放日101名参加

(2) 文化財保護関連

文化財防火デー・消防訓練（1月26日）

(3) 蔵の活用

クロスケの家特別開館の会場として活用。

(4) 整備及び管理作業

①プレハブ車庫内にグッズ収納用コンテナ設置

②土間の掛時計の修理

③茶工場前水道バルブ交換

④東側境界部分の竹柵設置

1-3. 狭山丘陵の価値を広く伝えるための普及啓発事業

狭山丘陵の自然やそこに息づく文化などに関する情報を発信し、保全に向けた世論作りをすすめた。ナショナル・トラスト活動や里山保全に係る取材などに対して積極的に対応し、基金の活動への理解を促した。また、会員の増加に努めた。

(1) 会員の状況

2023年度末の登録会員は1,357人で、内訳は正会員935人、家族会員188人、賛助会員54人、こども会員163人、法人会員17社であった。前年度と比べ20人の増加であった。

(2) 会報発行等の広報活動の充実

支援者向け機関紙『トトロの森から』を会員・寄付者に向けて発行した。

第116号発行 6月30日

第117号発行 9月30日

第118号発行 1月20日

第119号発行 3月31日

こども会員ニュースターをこども会員に向けて発行した。

第 11 号発行 9 月 15 日

第 12 号発行 3 月 31 日

(3) 狭山丘陵における体験活動の実施（詳細は、1-2 (1) ⑤参照）

企業や団体の協力を得てトラスト地の維持管理作業に取り組んだ。

コーセー総合労働組合、理研計器株式会社、がくどう舎 KIRACCO、株式会社日本設計、GFN・ところざわ地域の自然グループ

(4) ホームページの更新と運営

公式ホームページでは、イベントやボランティア情報などを定期的に更新し、閲覧状況の分析を行った。また、公式フェイスブックや Instagram を運用し、若年層への PR に努めた。

(5) 一般への広報活動

- ・トトロの森とクロスケの家ガイドツアー（4 月 15 日、5 月 5 日、5 月 11 日（中止）、6 月 3 日（中止）、7 月 8 日、9 月 30 日、10 月 9 日（中止）、12 月 2 日、12 月 10 日、3 月 2 日、3 月 23 日）
- ・クロスケの家イベント（どんぐりトトロづくり 4 月 15 日、5 月 2 日、5 月 13 日、6 月 10 日、7 月 8 日、7 月 29 日、9 月 30 日、10 月 14 日、11 月 11 日）
- ・イオン入間店でのイエローレシートキャンペーンへの参加
- ・みどりの遺言セミナーに参加（2 月 28 日）

(6) 狭山丘陵フェアへの参加協力

狭山丘陵フェア実行委員会への参加 1 回（6 月 22 日）

狭山丘陵フェア 11 月 3 日

団体紹介パネル展示への協力

当日出展：どんぐりトトロづくり

1-4. 里山の保全に関する環境教育の実施（環境教育部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境や歴史的景観を維持・保全することの意義や大切さを広く社会に伝えることを目的として環境教育活動に取り組んだ。また、活動拠点とするクロスケの家において、地域の方をお迎えし、所沢市三ヶ島の年中行事の再現に取り組んだ。また、狭山丘陵の自然・歴史に関する資料集の編集の検討を行った。

狭山丘陵いきものふれあいの里センターをフィールドとした取り組みと、トトロの森及びクロスケの家をフィールドとした取り組みを行った。

(1) 狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理事業

2023 年度の指定管理業務事業報告書（別紙）

(2) 「総合的な学習の時間」等を活用した学校での環境教育への協力

①クロスケの家において総合的な学習の時間等への協力を行った。

6 月 23・24 日 三ヶ島小学校 2 学年学区探検

1 月 21 日 都立南多摩中等教育学校 「トトロの森環境整備と文化財見学」

②いきものふれあいの里センターにおいて、年間を通して学校に協力した。

(3) 環境教育に関する講座・学習会

年中行事の再現をおこなった。

4 月 23 日 五月人形飾り

6 月 24 日 七夕飾り

9 月 29 日 十五夜飾り

10 月 28 日 十三夜飾り

12 月 26 日 しめ縄飾りづくり

1月13日 小正月・繭玉飾りづくり
2月18日 雛人形飾り

(4) 環境教育部会会議の開催

環境教育部会会議を5回開催した。

4/23、5/14、9/10、11/19、3/9

1-5. 狭山丘陵における自然環境等に関する調査及び情報収集事業

1) 里山の自然環境に関する調査・研究（調査部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境の調査研究を行い、生物多様性等に係る価値の把握に努めた。また、トラスト地の適切な管理方針策定のための提言を行った。

(1) 狭山丘陵の自然環境調査の実施

- ・トラスト地とその周辺の動植物調査等を35回行った
- ・トラスト地でナラ枯れ状況調査とトリコデルマ菌を使った対策の実証実験を行った
- ・トラスト地における生物の生息情報を収集・蓄積した

(2) 講座・勉強会

51号地と湿地環境の保全に関する勉強会を開催

(3) 調査部会の開催

調査部会を3回開催

(4) 自然環境調査報告書等の発行・協力

自然環境調査報告書第18集を発行

(5) 管理方針の提案

57号地、58号地の管理方針案の提案

2) 狭山丘陵に関わる自然環境及び歴史的景観の保護並びにそれに関する情報収集活動

狭山丘陵の地域資源の保全に資する情報の収集をすすめ、必要に応じて関係自治体その他の団体との協議を行い、狭山丘陵保全のための活動を展開した。

(1) 関係自治体、企業等との協議

- ・菩提樹池と周辺緑地に係る連絡会議に出席（会議：5月17日、9月19日、12月12日/管理作業：6月23日、6月24日、7月1日、11月18日、2月17日）
- ・野山北・六道山公園管理運営協議会に出席（10月22日）
- ・野山北・六道山公園生物多様性保全利用計画意見交換会に出席（10月30日、3月1日）
- ・狭山丘陵広域連絡会に出席（1月25日）
- ・さいたま緑の森博物館保全活用協議会に出席（6月24日/協働作業1月27日）
- ・狭山3公園管理運営協議会及び多様性事業連絡会に出席（9月5日）
- ・早稲田大学所沢校地B地区自然環境評価委員会に出席（11月27日、3月22日）
- ・新河岸川水系水環境連絡会に出席（5月25日）
- ・所沢市のネイチャーポジティブ実現にむけた地域保全計画ワークショップに出席（4月27日）
- ・早稲田大学・森林文化協会との狭山丘陵の自然環境保全にむけた連携
- ・ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例の改正要望と協議（4月13日、8月30日）
- ・砂川堀水辺保全・散策路整備事業について検討
- ・東川河川維持工事の工法についての検討
- ・葛籠入湿地及び水源地に対する自然再生の取り組みを実施

(2) その他

- ・自然共生サイトに認定。自然共生サイト認定証授与式に参加（10月25日）
- ・入間市大森調節池現地見学会に参加（8月25日）
- ・狭山丘陵マスタープラン策定に向けた市民参加型湿地調査の実施
- ・町田市小野路の多摩丘陵の谷戸見学会に参加（3月3日）

1-6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての適切な運営のために、理事会、評議員会を開催した。また、執行部会議等を開催して的確で迅速な意思決定を行うとともに、財政等に係る課題の検討を進めた。

ナショナル・トラスト活動や里山保全を進める関係団体からの照会・相談等への対応を行ったほか、様々なメディアからの取材等への対応、丘陵案内やシンポジウムへの参加などを実施した。

その他、各事業の推進に必要な資金の一部をまかなうために、収益事業を行うとともに、各種助成金等の確保に取り組んだ。

(1) 理事会及び評議員会の開催

理事会：通常理事会2回（5月21日、3月17日）

臨時理事会2回（6月11日、11月5日）

評議員会：定時評議員会1回（6月11日）

(2) 執行部会議の開催（4回）

8月22日、12月12日、1月28日、3月25日

(3) 常任理事会の開催（12回）

4月30日、5月28日、6月18日、7月23日、8月27日、9月24日、10月29日、11月26日、12月24日、1月28日、2月25日、3月31日

(4) 照会、相談等への対応及び活動広報等

基金の活動紹介と狭山丘陵の案内等を行った。

① 講演等

5月 一般財団法人自然環境研究センター「中南米・カリブ諸国瀕物多様性保全の統合的管理保全に関する能力強化研修」

所沢の自然と農業サークル「狭山丘陵自然観察会」

早稲田大学人間科学学術院 NPO/NGO 論「狭山丘陵の市民活動」

6月 「霧島酒造株式会社」森林管理についてのヒアリング

7月 日本森林技術協会林野庁補助事業「ナラ枯れ被害対策実態調査」のためのヒアリング調査

10月 山口小学校 講座

埼玉大学基盤教育研究センター 講座：狭山丘陵における地域創生

11月 大正大学地域創生学部地域創生学科「東京近郊における環境保全、または環境教育の可能性について」

東京家政大学「トトロの森の自然環境や取組・体験活動」

1月 東京都立南多摩中等教育学校「トトロの森の整備と保全活動」

3月 明治大学農学部倉本研究室 連続講演会「点在するトラスト地の管理の難しさ」

② 取材等への対応

4月 所沢市商業観光課「所沢市広報紙」

6月 埼玉県広報課「彩の国だより」

- 6月 所沢市経営企画課「ダイアサイクリングマップ」
- 6月 株式会社中村コミュニケーションズ「埼玉日和」
- 7月 日本テレビ「ZIP Go!Go!おどろん」
- 9月 ART OF LIVING JAPAN「Japan Spotlight」
- 10月 所沢市広報課「暮らしの便利帳」
- 10月 ナビタイムジャパン「NAVITIME Travel」
- 10月 社会福祉法人皆成会「はあもにい通信「HeartFull」」
- 11月 株式会社フジテレビジョン「ライブニュースイット！」
- 11月 所沢市商業観光課「所沢市観光ガイドブック」
- 11月 株式会社クリエティブネクサス NHK Eテレ「ヴィランの言い分」取材協力
- 1月 JTBパブリッシング「るるぶ埼玉 川越 秩父 鉄道博物館‘25」
朝日新聞「30by30 特集記事」
- 2月 埼玉県公式観光サイト「ちょこたび埼玉」、
東海テレビ放送「特別番組おんこちしん#2（仮）」、
JTBパブリッシング「るるぶ新シリーズ書籍 埼玉版（仮）」
所沢中学校1年探求学習活動「所沢のGOOD spotsを動画で全世界へ」撮影に協力

③ 教材等への写真等の提供

- 6月 株式会社光文書院「社会科資料集」
- 9月 株式会社文溪社「社会科資料集5年」
- 9月 青葉図書株式会社「社会科資料集5年」
- 9月 株式会社日本標準「社会科資料集5年」
- 10月 株式会社新学社「社会科資料集5年」
- 11月 株式会社エデュケーショナルネットワーク「ワーク社会小5」
- 1月 株式会社光文書院「社会科資料集」「デジしゃか（社会科資料集の電子ブック）」
- 2月 株式会社日本入試センター「サピックス eco クラブ5年」

④ 丘陵案内

- 5月19日（所沢の自然と農業サークル：狭山丘陵自然観察会）
- 5月31日（一般財団法人自然環境センター：「中南米・カリブ諸国瀬物多様性保全の統合的管理
保全に関する能力強化研修」）
- 11月1日（大正大学地域創生学部地域創生学科「東京近郊における環境保全、または環境教育
の可能性について」）
- 1月20日（東京都立南多摩中等教育学校「トトロの森の整備と保全活動」）

2. 収益事業の実施

- ① 収益事業検討会の開催（5月16日、6月15日、8月9日、9月13日、2月21日）
- ② 株式会社スタジオジブリ商品企画部を訪問し、アパレル品の供給体制などを相談。また、市場動向や同社の理念などをうかがった（5月15日）
後日、新商品デザインについて承認をいただくべく訪問した（12月12日）
- ③ ベネリック株式会社を訪問し、店舗の状況やアパレル品の売れ行きをうかがった（5月19日、3月26日）
- ④ 3月～5月期のアパレル品出荷トラブルについて、製造元の株式会社ユニオンサービスより状況説明と改善策の報告をうけた（6月5日）
- ⑤ アパレル品のライセンスアウトにかかり、株式会社ムービックとの取引を開始した。諸条件の打

ち合わせや取引先に同行しての商談を行なった。

(6月7日、8月22日、12月12日、3月26日)

⑥ イベント等でのグッズ販売、外部委託販売

11月16日 北打越町内会ミニ文化祭

12月8日 公益財団法人所沢市文化振興事業団（ミュージズ）へのイベント販売

秋期、協力者による出張販売（菩提樹田んぼの会、山口の自然に親しむ会、山口地区）があった。

⑦ 2023年度新商品 一筆箋（トトロ傘）の販売開始

⑧ 2024年度新商品の企画、商品化に向けた検討

半袖Tシャツ（センダングサ）、折りたたみエコバッグ（新柄）、帆布バッグ（ネコバス）

⑨ オンラインショップ TOTORO FUND SHOP の更新・運用を行った。

⑩ ジブリパーク第3期開園にあたり、新規に半袖Tシャツ（こんにちはトトロ黒・白）、エコバッグ（まっちゃん）、レッスンバッグ（仲良くおでかけ）を取り扱い開始とした。

⑪ 夏季きょうされんカタログ販売事業においてエコバッグ（まっちゃん）を販売した。

⑫ その他 プレハブ車庫にコンテナを設置し、グッズ倉庫の拡張を行った。

以上

2023年度
埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理業務に係る事業報告書

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理者 公益財団法人 トトロのふるさと基金

(様式1)

2023年度事業報告書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

1 管理業務の実施状況

「狭山丘陵の自然を通して自然について学習する機会を設け、県民の自然との触れ合いを推進し、自然保護思想の普及を図る」という設置目的を達成するため、自然観察会等の実施や館内展示、教育機関への環境教育支援などを行った。

また、埼玉県営繕課発注のセンター棟外部改修工事が実施された。
工事期間中は、工事足場設置のため正面玄関や通路を一時封鎖し安全確保に努めた。

- ・工事期間:2023年11月6日～2024年2月7日
- ・アスベスト除去作業のため休館期間:2023年11月22日～11月25日

2023年度においては、下記の事項について特に配慮した管理を行った。

表1 2023年度の新たな取り組み、充実点について

取り組み	実施内容
新型コロナ関連の取り組み	<ul style="list-style-type: none">・毎日1回消毒液による館内拭き上げ。・窓口や館内テーブルに透明アクリル板の設置。・出入口に消毒液を設置。
イベント	<ul style="list-style-type: none">・ネイチャークラフトイベント『シュロでミニ箒作り』や『ドングリトロを作ろう!』を実施。(新規)・感染症拡大防止のため休止していた体験型イベントを再開した。
管理作業	<ul style="list-style-type: none">・センターエリア内の看板やベンチに位置番号にもなる管理番号札を18枚設置。(新規)・センターエリアの柵や杭を44箇所修繕。・ナラ枯れに伴う倒木や落枝、危険性が高い木の除去対応18回。
頒布物	<ul style="list-style-type: none">・ボランティア団体堅香子の会の植物画を使い、身近な樹木を紹介する新たな挟み込みクリアファイルを作成した。
その他	<ul style="list-style-type: none">・利用者より更新要望があった講義室の重い机を、軽くキャスターがついた物にリニューアルした。(新規)・所沢図書館吾妻分館と各管理地を紹介する冊子を作成した。(新規)・カシノナガキクイムシ捕獲実験実施。・ナラ枯れ伐採木へのビニールシート被覆実施。・各管理地ならびにその周辺のナラ枯れ被害調査実施。・ナラ枯れ防止研修会の受入れ。・ナラ枯れ防止のための薬品注入実施。

(1) 自然観察会等の実施

① 自然観察会等のイベント実施

新規企画として、管理作業から出た材を使つてのネイチャークラフトイベント『シュロでミニ箒作り』や『ドングリトトロを作ろう!』を実施した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していた里山体験講座『お茶摘み』なども再開した。また、定例のイベントとして『基礎から学ぶ植物画講座』や『狭山丘陵自然観察会』などを実施した。イベント実施状況は表 2 にまとめた。

表 2 イベント実施状況

イベント名	内 容	参加人数	回数
基礎から学ぶ植物画講座	草花を画用紙に再現することで、植物の生態への理解を深める講座を行った。	87	13
植物画講座中級編	基礎から学ぶ植物講座の中級編講座を行った。	157	13
狭山丘陵自然観察会	狭山丘陵の自然への理解を深めるために、一部、専門家を招いて実施した。	137	8
初めての自然観察会	小学生と保護者を対象にした入門的な観察会を実施した。	88	7
里山体験講座	ネイチャークラフトや昔の里山の暮らし、年中行事等の地域の文化・習俗を体験する講座を行った。	88	5
地域公共施設との連携イベント	地域の図書館や公民館と、展示やイベントを共催して行った。	58	1
いきふれボランティア募集・養成講座	ボランティア募集の説明会と養成講座を連続して行った。	15	3
ひよこ探検隊	未就学児童とその保護者を対象にした自然観察会を行った。	5	1
狭山丘陵出前センター	文化祭やお祭などに出張して狭山丘陵に関する展示を行った。	3,651	9
ガイドウォーク	申込なしで参加出来る観察会を行った。	138	21
環境教育活動の支援	幼稚園、小中学校、高校、大学へ環境教育活動への協力や支援を行った。	1,767	31
企業との連携イベント	ウォーキングや観察会を行った。	6,393	10
スマホ de スタンプラリー	スマートホンを使った非接触型のスタンプラリーを実施した。	86	1

※延べ:123回 12,670名 中止 2回

② 団体利用者への自然解説ならびに環境教育支援の実施

幼稚園や保育園、小学校、中学校、大学、一般団体などの利用及び施設見学者に対し、センターエリアのガイドやレクチャーなどを行った。特に、小中学校へはワークシートを使った観察会や学校への職員派遣を行った。小中学校や大学への環境教育支援については、表 3 にまとめた。

表 3 団体利用対応受入状況

区 分	幼稚園 保育園	小学校 中学校	高 校 大学等	一 般	合 計
利用回数	61 回	24 回	3 回	68 回	156 回
利用者数	898 名	1,845 名	32 名	9,419 名	12,194 名

③ インターンシップの受け入れ

環境教育に必要な実践能力を育成するためインターン生を受け入れた。(表 4)

表 4 インターン生受け入れ実施状況

学校名	実施日	人 数	内 容
所沢市南陵 中学校	11/29～12/1	5 名	園路巡回や柵管理、展示作成など
東京農業大学	7/29～8/5	1 名	イベントの補助や館内解説、展示物作成、 Facebook を使った情報発信など
	8/15～8/19	2 名	イベントの補助や館内解説、展示物作成 Facebook を使った情報発信など
埼玉大学	10/25～1/20	2 名	公園管理や頭骨標本づくり、イベントの補助、 Facebook を使った情報発信など

(2) 展示、解説について

① 展示について

初めての取り組みとして、地域の幼稚園と壁面画や立体作品を作成し、館内や園内に飾り付ける『森のミュージアム』を実施した。また、『キノコ入門展示』や『カブトムシ展』など季節に応じた生態展示を 11 回、映像を使った展示を 5 回行った。地域公共施設との連携では、所沢図書館や所沢市役所とも展示を行った。

② 館内解説の実施

館内解説や自然情報、ウォーキング地図の提供等を行った。詳細を表 5 にまとめた。

表 5 利用者への情報提供人数

内 容	人 数
館内解説、自然情報、周辺案内、自然一般の相談など	2,546 人

(3) 広報活動

① 情報提供

彩の国だよりや市報、雑誌やミニコミ誌等にイベントや自然情報の提供を行った。また、FM 茶笛 (コミュニティーFM) に、毎月電話出演し自然情報等の発信に努めた。

マスコミへの出演や取材協力、掲載実績等の実施状況は以下の表 6 のとおりである。

表 6-1 マスコミへの出演、取材協力

種別	番組名	回数	内 容
ラジオ	FM 茶笛 (77.7MHz) とれたてラジオ	12 回	毎月第二木曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。
	FM 茶笛 (77.7MHz) お出かけステーション	3 回	土曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。
	NACK5 (79.5Mhz) 朝情報★埼玉	1 回	狭山丘陵の秋とイベント紹介。
テレビ	日本放送協会 首都圏 NEWS845	1 回	近隣小学校への落ち葉掃き体験授業の様子を放送。

※延べ 出演回数:17 回

表 6-2 新聞や各種情報紙への掲載実績

冊 子	発行地域	形態	発行団体	掲載回数
広報とところざわ	所沢市	市報	所沢市	12 回
武州路	埼玉県	雑誌	株式会社富士フィルム	12 回
西埼玉ぱど	西埼玉	冊子	株式会社西埼玉ぱど	10 回
彩の国だより	埼玉県	県報	埼玉県	4 回
読売新聞	埼玉県	全国	株式会社読売新聞社	1 回
るるぶ埼玉 '25	全国	冊子	株式会社 JTB パブリッシング	1 回
彩ニュース	全国	WEB	有限会社アイ工房	1 回

※延べ 掲載回数:41 回

表 6-3 マスコミ等への情報提供

マスコミ紙	回数	内 容
西埼玉ぱど	12 回	イベント募集のお知らせ
所沢記者クラブ	5 回	自然情報やイベント情報

※延べ 17 回

表 6-4 イベントチラシの作成実績

チラシ	数量	内 容
年間観察会チラシ (A5)	3,000 枚	自然観察会を周知するために、県内外に広く配布。
イベント告知ポスター	25 枚	イベントやボランティア募集などを周知するため、センター壁面を貼りだした。

②広報紙等の発行と配布

「いきふれ通信」を年4回計10,000部発行し、所沢市内全ての小学校と図書館、主な埼玉県内の博物館や資料館、首都圏の関連自然施設等83箇所に配布した。

④ センターホームページの運営

イベントの予定や実施状況などを知っていただくため、ホームページや Facebook の運営を行った。また、ホームページ改ざん防止のため、システムの脆弱性の対応や安全性の確保のため、基本ソフトの定期更新や管理などに努めた。ホームページの更新回数は表 7、閲覧状況は表 8 のとおりである。

表 7 ホームページ更新

内 容	更新回数
自然情報、イベント予定・報告、ボランティア活動報告など	184 回

表 8 ホームページへの閲覧状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月 間 閲覧数	2,912	3,774	3,465	3,698	3,577	2,987	2,231	2,561	1,675	1,332	2,465	2,986

※累計 33,663 回

(4) 関係団体との協働

①埼玉県狭山丘陵いきふれの会

ボランティアの募集説明会や養成講座を開催し、今期新たに 4 名が会員に加わり、全登録者は 26 名となった。センター管理地の各スポットエリアを中心に、年間を通して定期的な巡回や行事補助、自然情報の収集に協力頂いた。活動状況は表 9 のとおりである。

表 9 ボランティアとの活動実施状況

主な活動分野	実施回数	参加者	主な内容
巡回・情報収集	12 回	39 名	各スポットの巡回や自然情報の収集
行事補助	23 回	54 名	自然観察会などの補助
作業会	5 回	42 名	外来種除去作業や道標整備

※(全体会議、その他)8 回 99 名 延べ活動数:48 回 延べ人数:234 名

②「堅香子の会」や「ふれ炭会」との協力

- ・堅香子の会:植物画講座への講師派遣や植物画の原画借用協力を頂いた。
- ・ふれ炭会:炭焼き体験に関する学生団体の受け入れや間伐材の有効利用などに協力頂いた。

③ 地域の企業や市町村、自然ふれあい施設等との連携

所沢図書館吾妻分館と各管理地を絵本で紹介する小冊子を初めて作成し、利用の促進と周知を図った。また、入間市役所や早稲田大学自然環境調査室へ講師派遣やイベント協力の依頼を行った。また、所沢市生涯学習推進センターや狭山丘陵観光連携事業推進協議会、狭山丘陵フェア実行委員会、東京都生物多様性事業連絡会に参加し、

関係機関との情報交換を行った。主な地元企業や市町村との連携は表 10 のとおりである。

表 10 主な地元企業や市町村、自然ふれあい施設との連携

団体名	イベント名	実施日	参加者	内 容
所沢市	所沢市環境ギャラリー トコロの森ミュージアム	9/20～ 9/28	3,010 名	所沢市役所ロビーにて展示し 解説を実施。
西武鉄道株式会社	新緑が映える狭山湖から鎌 倉攻めゆかりの古戦場跡へ	5/17	1,271 名	スポット 2 を使ったのパネル展示を 実施。
	北山公園花菖蒲観賞ウォー キング	6/7、8	2,087 名	スポット 5 を使ったのパネル展示を 実施。
	里山の落ち葉と焼き芋管理 作業	2/10	25 名	里山管理作業で落葉掃きとササ刈り を実施。

(5) 運営協議会の開催

当センターの円滑な管理運営の推進と、施設の有効活用を図るために、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター運営協議会を 11 月と 3 月に開催した。

- ・協議会委員：学識経験者、地域団体及びセンターボランティア団体の代表者、地元学校長等 計 10 名
- ・協議事項：事業実施状況、自主事業へのアドバイス、管理運営の方向性等について

(6) 施設の維持管理

① 保守点検業務

施設の維持管理（夜間警備や空調設備、消防設備の保守点検、施設の清掃）については、それぞれの専門業者に委託することにより適正な管理を行った。

② 地震や火災などの対策

消防署を招いての通報訓練や消火訓練、避難誘導訓練、AED を使った心肺蘇生訓練を行った。また、自然ふれあい施設における地震発生時の対応マニュアルや緊急時の対応マニュアルを読み合わせ、机上での模擬訓練を行った。

③ 園地管理

日常的に管理地内を巡回し、定期的な草刈りや植栽木の剪定、外来種の引抜き、劣化木柵の交換、階段ステップの修繕、卓上ベンチの清掃などを行った。また、ナラ枯れによる倒木や落枝が多発し、緊急性の高い危険木の除去作業を行った。

主な実績は表 11 のとおりである。

表 11 取り組み内容

場 所	項 目	数 量	内 容
センターエリア	外来種の引抜き	8 回	セリバヒエンソウ抜き。
	杭と横木(木柵)	44 本	破損柵を交換。
	草刈り	27 回	園路や施設屋根の除草。
	倒木・落枝対応	11 回	ナラ枯れにより発生。
	管理番号札	18 基	管理番号札の設置。

	ナラ枯れ予防対応	6回	飛散防止シートや薬剤注入。
	その他	8回	カエントケ対応や茶畑の施肥。
スポット2	草刈り	2回	園路の除草。
	倒木・落枝対応	2回	ナラ枯れにより発生。
スポット3	草刈り	2回	園路の除草。
	倒木・落枝対応	5回	ナラ枯れにより発生。
スポット5	草刈り	3回	園路の除草。

(7) 災害時等の緊急時の対応

大型の台風接近の際は、施設玄関付近への土嚢の設置や事前巡回などを実施した。また、緊急対応に備え、関係機関への連絡やチェーンソーなどの備品の用意を行った。台風通過後は、速やかに施設と管理地を巡回し園路通行の情報の収集と安全確保に努め、園路上空の掛かり枝や倒木の除去などを行った。園路情報は、ホームページを通じて周知を図った。

(8) その他の自主事業

① 頒布物について

狭山丘陵の自然の素晴らしさを伝えるため、堅香子の会の植物画を使い『身近なスマイルを紹介するクリアファイル』を作成した。また『狭山丘陵いきものふれあいの里の植物』や『野鳥ハンドブック 水辺編、里山編』、『植物画ハガキ』、『植物画一筆箋』、『シダ植物ポケット図鑑』、『挟み込みクリアファイル』の頒布などを行った。

② 萌芽更新完了後の追跡調査

身近なみどり保全創出事業にて所沢市が実施したセンターエリアの萌芽更新地区の植生調査を3回行い、91種(草本24種、木本64種、シダ、コケ3種)を記録した。結果を管理作業の参考にするために、所沢市みどり自然課へ報告を行った。

傾向として、樹の成長に伴い、草本が減り、好光性の木本の淘汰も始まっている。

③ ナラ枯れ拡大防止のための取り組み

ナラ枯れが広がりを見せ、倒木や落枝など多数確認されている。被害拡大を防ぐため、ナラ枯れ防止薬剤の抽入、カシノナガキクイムシの捕獲、被害調査、一般周知のための研修会を受け入れた。主な実績は表12のとおりである。

表12 取り組み内容

場 所	項 目	数 量	内 容
センターエリア	ナラ枯れ防止薬剤の注入	10本	ナラ菌の増殖を防ぐための薬剤を注入。
	カシノナガキクイムシ捕獲実験	3基	飛翔時期を確認。
	ナラ枯れ伐採木へのビニール被覆	6箇所	カシノナガキクイムシ飛散防止のため実施。

	ナラ枯れ研修会	2回	拡大防止策等の講習
各管理地	ナラ枯れ被害木調査	6箇所	各管理地にてナラ枯れ確認

2 施設の利用状況

① 利用者別利用状況

区分	大人			小人(中学生以下)			合計
	一般	団体	計	一般	団体	計	
入館者数	11,033	13,509	24,542	2,351	4,056	6,407	30,949

② 施設有料利用状況（利用施設区分別）

区分	講義室	展示室
利用件数	17件	0件
利用者数	242人	0人